

指標名	目標値設定根拠等	現状値 (年度)	目標値 (年度)
<b>政策1</b>	<b>安心して子どもを産み育てられるまちを目指します</b>		
<b>取組1</b>	<b>出産前からの切れ目のない支援</b>		
子ども相談窓口※ の認知率 (%) [↑]	(目標値設定根拠) 子ども相談窓口やその機能を周知することにより、安心して子どもを産み育てられると感じる世帯の増加につながることから、多くの市民に認知されている状態を目指し、目標値を設定する。 (算出方法) 子ども支援に関するアンケートで5段階評価の内、「子ども支援に関する相談窓口」を「利用したことがある」「知っている」「聞いたことがある」と回答した人の割合	-	90.0 (2030年度)
ふくろい子育て応援ナビ「フッピーのぼっけ」の登録者数 (人) [↑]	(目標値設定根拠) 子育て情報の配信や健診時等におけるお知らせの通知により、子育て世帯の不安感を軽減し安心感の向上につながることから、新規アプリの導入に伴い、従来のアプリからの移行登録者数1,500人及び近年の出生数と同程度である毎年500人の新規登録者数を目指して目標値を設定する。 (算出方法) 子育て支援情報通信アプリ:子育て応援ナビ「フッピーのぼっけ」の累積登録者数	-	4,000 (2030年度)
小中学校における「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の策定・活用の割合 (%) [→]	(目標値設定根拠) 計画を活用することで、校種を超えた情報共有が進み、特別な支援が必要な児童生徒への切れ目のない支援につながることから、活用率100%の維持を目指して目標値を設定する。 (算出方法) 当該計画の策定が義務づけられている特別支援学級に在籍者及び通級指導教室へ通う児童生徒に対する両計画の策定・活用の割合	-	100.0 (2030年度)
<b>取組2</b>	<b>みんなで支え合う子育て環境の充実</b>		
多様な保育サービスを実施している園等の数 (箇所) [↑]	(目標値設定根拠) 保育ニーズに応じたサービス提供を進めることで、幼児期のすこやかな発育につながることから、段階的(年1ヶ所)に増設することを目指して目標値を設定する。 (算出方法) 毎年4月1日現在で市内で、対児童へのきめ細やかな保育サービスを実施している施設数(病児・病後児保育事業、医療的ケア児支援、障がい児保育事業、外国人児童保育事業、誰でも通園制度事業)	20 (2024年度)	25 (2030年度)
放課後児童クラブの待機児童数 (人) [↓]	(目標値設定根拠) 保護者が就労等により昼間家庭に不在となるすべての小学生が、安全かつ安心して過ごすことが可能となるように、待機児童ゼロを目指し、目標値を設定する。 (算出方法) 毎年4月1日現在の放課後児童クラブの待機児童数	36 (2024年度)	0 (2030年度)
幼児教育センターの訪問回数 (回/年) [↑]	(目標値設定根拠) 巡回訪問を充実させることで、こどもの特性等に合わせた保育サービスの質の向上につながることから、訪問回数を毎年5回増加させることを目指して目標値を設定する。 (算出方法) 毎年度における幼児教育センターによる公立園及び私立園の訪問・支援回数	222 (2024年度)	250 (2030年度)

※ 子育てや子どもの発達、不登校等に関する相談に対応するため、子ども若者家庭センターに設置している相談窓口